



## 2021年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月14日

上場会社名 JESCOホールディングス株式会社  
 コード番号 1434 URL <https://www.jesco.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 松本 俊洋

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 清水 等

TEL 03-6382-7123

四半期報告書提出予定日 2021年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年8月期第3四半期の連結業績(2020年9月1日～2021年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	7,290	9.0	515	142.2	555	128.4	393	70.1
2020年8月期第3四半期	6,691	7.3	212	242.2	243	302.8	231	407.9

(注) 包括利益 2021年8月期第3四半期 401百万円 (138.8%) 2020年8月期第3四半期 168百万円 (898.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第3四半期	59.56	58.88
2020年8月期第3四半期	35.17	34.91

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第3四半期	12,255	3,930	30.3
2020年8月期	9,972	3,601	33.8

(参考) 自己資本 2021年8月期第3四半期 3,715百万円 2020年8月期 3,373百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期		0.00		15.00	15.00
2021年8月期		0.00			
2021年8月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,100	1.2	530	35.7	580	32.6	400	21.3	60.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年8月期3Q	6,645,900 株	2020年8月期	6,579,600 株
2021年8月期3Q	4,885 株	2020年8月期	4,845 株
2021年8月期3Q	6,603,581 株	2020年8月期3Q	6,572,523 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	
(1) 経営成績に関する説明 .....	
(2) 財政状態に関する説明 .....	
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	
(継続企業の前提に関する注記) .....	
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	
(会計方針の変更) .....	
(会計上の見積りの変更) .....	
(修正再表示) .....	
3. その他 .....	
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年9月1日～2021年5月31日)のわが国経済は、年初からの新型コロナウイルス感染症拡大により依然として厳しい状況が続いていますが、世界的なワクチン接種拡大により、一部の産業には業績回復の動きもあり、景気の二極化が見られます。

このような経済環境の中、当社が注力する電気通信設備工場の市場におきましては、5G等新しい社会実現に向けて、比較的堅調に推移しております。そのような市場動向を捉え、当社グループでは、国内外共にテレワークの導入などDX(デジタルトランスフォーメーション)による働き方改革やインターネットを活用した教育システム(JESCOアカデミー)を導入し、ニューノーマル時代に適応した体制を構築してまいりました。この体制のもと、国内市場においては、脱炭素社会や持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向け、5G等の移動体通信インフラ工事、防災無線工事及び太陽光発電等の再生可能エネルギー関連設備工場の事業拡大に取り組んでまいりました。太陽光発電設備工事につきましては、これまでの実績が評価され、日経新聞NEXT1000に「脱炭素実現を支える新興勢」として当社が紹介されました。また、本年4月には「再エネ100宣言RE Action\*1」に参画し、2050年までに使用電力100%再エネ化を公表すると共に、すでに保有する那智の滝の保安林(16.7ha)によるCO2削減(330トン)及び水源確保などESG活動\*2の更なる拡大にも取り組んでまいります。一方、海外市場においては、ベトナムの設計積算部門では、DXによる仮想空間での国内との一体化やテレワークでの業務遂行によりコロナ禍においても業務を安定的に進めてまいりました。また、本年2月にスリランカ国バンダラナイケ国際空港工事(ターミナル拡張工事等 18万㎡)の電気設備工場の大型案件を受注(35.4億円)し、同国での更なるEPC\*3の受注拡大とともに、アセアン地域での国際空港や河川防災無線工事、太陽光発電設備工事等の受注拡大を図ってまいります。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、売上高72億90百万円(前年同四半期比9.0%増)、営業利益5億15百万円(前年同四半期比142.2%増)、経常利益5億55百万円(前年同四半期比128.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億93百万円(前年同四半期比70.1%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

#### ① 国内EPC事業

国内EPC事業において、JESCO株式会社では、移動体通信システム関連工場の5G等の環境整備に向けて増加すると共に稼働率も向上し、また、太陽光発電設備工事においても、脱炭素社会実現に向けた大型事業用発電設備や大型屋根置自家消費発電設備などの完工量の増加及び元請契約の拡大により、増収増益となりました。JESCO SUGAYA株式会社では、大型太陽光発電設備工事や渡良瀬川流域の防災無線工事等が順調に推移し、増収増益となりました。

当第3四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高60億55百万円(前年同期比19.4%増)、セグメント利益5億65百万円(前年同期比172.1%増)となりました。

#### ② アセアンEPC事業

アセアンEPC事業において、JESCO ASIA JOINT STOCK COMPANYでは、設計積算部門でのDX推進や社員全員(180名)でのテレワーク実施により、新型コロナ禍での事業継続が順調に推移し収益向上に寄与しました。一方、JESCO HOA BINH ENGINEERING JOINT STOCK COMPANYでは、ホーチミン市の大型集合住宅の投資抑制があったものの、要員削減(65名)等や新たに大規模リゾート施設の電気設備工事への取組により損失を縮小しました。この結果、当事業全体としては減収となったものの黒字転換となりました。

当第3四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高10億92百万円(前年同期比27.7%減)、セグメント利益8百万円(前年同期はセグメント損失62百万円)となりました。

#### ③ 不動産管理事業

不動産管理事業においては、当第2四半期連結会計期間に取得したJESCO新宿御苑ビルにより増収となりましたが、経年劣化に伴うJESCO新中野ビルの大規模修繕工事により減益となりました。

当第3四半期連結累計期間における当セグメントの経営成績は、売上高1億42百万円(前年同期比30.1

%増)、セグメント損失37百万円(前年同期はセグメント利益64百万円)となりました。

- ※1 再エネ100宣言RE Action:消費電力量10GWh未満の企業や自治体などを対象とし、使用電力を100%再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示し、再エネ100%利用を促進する枠組み。
- ※2 ESG:Environment(環境)、Social(社会)、Governance(ガバナンス)の略で、企業が持続的に成長、発展できるか否かを判断する指標として用いられる3要素の総称。
- ※3 EPC = Engineering(設計)、Procurement(調達)、Construction(建設)の略

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、45億円となり、前連結会計年度末に比べ3億45百万円の減少となりました。これは、受取手形・完成工事未収入金等が6億7百万円減少し、現金及び預金が94百万円、未成工事支出金が71百万円増加したこと等によるものであります。当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、77億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億30百万円の増加となりました。これは、JESCO新宿御苑ビルの取得等により、有形固定資産が24億90百万円増加したこと等によるものであります。この結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、122億55百万円となり、22億83百万円の増加となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、42億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億62百万円の増加となりました。これは短期借入金が6億27百万円、1年内返済予定の長期借入金が71百万円増加したこと等によるものであります。当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、40億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億92百万円の増加となりました。これは、長期借入金が11億60百万円増加したこと等によるものであります。この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、83億25百万円となり、19億54百万円の増加となりました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、39億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億28百万円の増加となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末の33.8%から当第3四半期連結会計期間末は30.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の通期連結業績予想につきましては、2020年10月14日に発表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,541,455	1,636,306
受取手形・完成工事未収入金等	2,593,754	1,986,138
未成工事支出金	641,860	713,838
原材料及び貯蔵品	22,827	22,113
その他	253,627	335,240
貸倒引当金	△207,069	△193,034
流動資産合計	4,846,455	4,500,603
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,997,719	2,694,229
減価償却累計額	△699,396	△763,790
建物及び構築物（純額）	1,298,322	1,930,438
機械装置及び運搬具	94,857	97,894
減価償却累計額	△86,948	△88,036
機械装置及び運搬具（純額）	7,909	9,858
土地	3,448,150	5,289,448
リース資産	211,520	224,869
減価償却累計額	△191,615	△197,993
リース資産（純額）	19,904	26,875
建設仮勘定	—	980
その他	249,065	264,668
減価償却累計額	△225,578	△233,496
その他（純額）	23,487	31,172
有形固定資産合計	4,797,774	7,288,773
無形固定資産		
のれん	8,174	6,681
その他	18,596	23,506
無形固定資産合計	26,770	30,187
投資その他の資産		
投資有価証券	104,811	223,517
繰延税金資産	138,506	139,342
その他	81,805	97,967
貸倒引当金	△31,691	△31,691
投資その他の資産合計	293,431	429,135
固定資産合計	5,117,977	7,748,096
繰延資産		
社債発行費	8,002	7,193
繰延資産合計	8,002	7,193
資産合計	9,972,435	12,255,893

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,215,191	1,222,463
短期借入金	870,443	1,497,891
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	65,413	136,701
リース債務	5,744	8,284
賞与引当金	64,033	91,211
工事損失引当金	14,619	1,256
事業整理損失引当金	56,882	16,633
未払法人税等	106,592	166,172
未成工事受入金	852,023	799,323
その他	210,170	283,349
流動負債合計	3,511,114	4,273,286
固定負債		
社債	325,000	300,000
長期借入金	1,731,193	2,891,338
リース債務	18,127	22,815
繰延税金負債	121,855	119,445
退職給付に係る負債	202,559	211,588
長期末払金	329,491	329,491
資産除去債務	15,347	15,426
その他	116,051	161,861
固定負債合計	2,859,626	4,051,967
負債合計	6,370,741	8,325,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	971,631	987,786
資本剰余金	891,155	907,310
利益剰余金	1,578,237	1,872,904
自己株式	△25	△49
株主資本合計	3,440,998	3,767,951
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,692	1,440
為替換算調整勘定	△63,489	△53,748
その他の包括利益累計額合計	△67,182	△52,308
非支配株主持分	227,877	214,995
純資産合計	3,601,693	3,930,639
負債純資産合計	9,972,435	12,255,893

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2021年5月31日)
売上高	6,691,528	7,290,495
売上原価	5,863,990	6,146,753
売上総利益	827,538	1,143,742
販売費及び一般管理費	614,585	628,074
営業利益	212,952	515,667
営業外収益		
受取利息	12,775	11,773
受取配当金	11	413
為替差益	16,853	7,155
作業屑売却益	2,984	8,196
違約金収入	—	38,998
その他	23,979	11,521
営業外収益合計	56,603	78,057
営業外費用		
支払利息	21,144	32,123
その他	5,118	5,968
営業外費用合計	26,262	38,092
経常利益	243,293	555,632
特別利益		
投資有価証券売却益	4,432	25,916
受取保険金	11,221	—
特別利益合計	15,654	25,916
特別損失		
固定資産除却損	4,982	—
災害による損失	8,166	—
たな卸資産処分損	17,173	—
特別損失合計	30,321	—
税金等調整前四半期純利益	228,626	581,549
法人税等	55,845	200,886
四半期純利益	172,780	380,663
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△58,386	△12,625
親会社株主に帰属する四半期純利益	231,166	393,288



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	172,780	380,663
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,887	5,133
為替換算調整勘定	△9,667	15,401
その他の包括利益合計	△4,779	20,535
四半期包括利益	168,000	401,198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,113	408,162
非支配株主に係る四半期包括利益	△61,113	△6,964

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実行税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内EPC 事業	アセアン EPC事業	不動産管理事 業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	5,071,283	1,510,595	109,648	6,691,528	-	6,691,528	-	6,691,528
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	28,730	75,183	27,270	131,184	327,450	458,634	△458,634	-
計	5,100,014	1,585,779	136,918	6,822,712	327,450	7,150,162	△458,634	6,691,528
セグメント利益 又は損失(△)	207,928	△62,098	64,734	210,564	680	211,244	1,707	212,952

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であり、営業損益間の消去458,634千円及び営業損益と営業外損益間の消去1,707千円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内EPC 事業	アセアン EPC事業	不動産管理事 業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	6,055,342	1,092,515	142,638	7,290,495	-	7,290,495	-	7,290,495
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	34,952	87,270	27,270	149,492	324,450	473,942	△473,942	-
計	6,090,294	1,179,785	169,908	7,439,988	324,450	7,764,438	△473,942	7,290,495
セグメント利益 又は損失(△)	565,766	8,772	△37,423	537,115	△21,509	515,605	61	515,667

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であり、営業損益間の消去473,942千円及び営業損益と営業外損益間の消去61千円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

追加情報

当第3四半期連結累計期間  
(自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)

新型コロナウイルス感染症について、今後の広がり方や収束時期等を予測することは困難ではありますが、当第3四半期連結累計期間における当社グループの事業活動へ与える影響は軽微であります。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大による影響は不確定要素が多いことから、事態が深刻化し当社グループの事業活動に支障が生じる場合は、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。